

他用途と合築された図書館の空間構成と運営

建設工学専攻
空間デザイン研究

ME18100 はせがわたるよ
長谷川輝世
指導教員 前田英寿

序章

近年の他用途と合築された図書館は貸出・閲覧のみならず、地域に合わせた多様な過ごし方を許容する計画がとられている。そのような計画は、今日の地方都市や震災復興等のまちづくりに関連する施設計画にも通じる。本研究では他用途と合築された図書館施設の空間構成と運営について研究する。研究を通して「地域に開かれた生活と地続き感のある建築」とは何かを明らかにすること、対象とする施設をその一手法として検討し、今後の地域ニーズに的確に応える施設計画の在り方を探求することを目的とする。

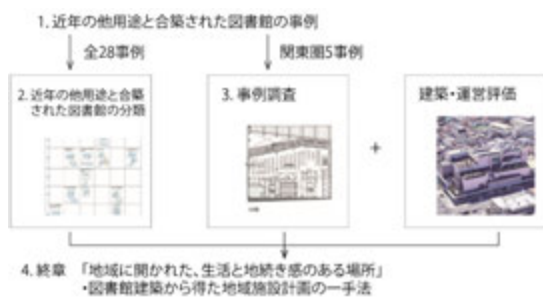


図1. 本研究の構成

1章 近年の他用途と合築された図書館の事例

1-1 近年の他用途と合築された図書館

近年の対象建築の現状と特徴を把握するため、建築家や設計事務所による設計が工夫されている施設を対象とする。国内建築を中心に掲載している雑誌「新建築」の2014～2018年過去5年間の全28施設（国内26施設、海外2施設）を分析した。

1-2 データシート

対象とする全28施設(表1.)を図2.の構成でデータシート化し各施設の概要、計画、特徴等を確認した。

写真

図2. データシートの例

1-3 結果

主要用途に図書館を含む建築作品は28施設（国内26施設、海外2施設）あった。延床面積の平均は13,984㎡で、それ以上に大きな施設は文化教育系用途（美術館、市庁舎、学校等）と合築された図書館6事例であった(図3.)。建築面積の平均は3,126㎡であった(図4.)。所在地は国内26事例中地方圏18事例であり、地方の需要の高さが明らかになった(図5.)。設置用途数は最多7用途、他25事例が0~4用途との合築事例で2用途との合築事例が最多7事例であった(図6.)。

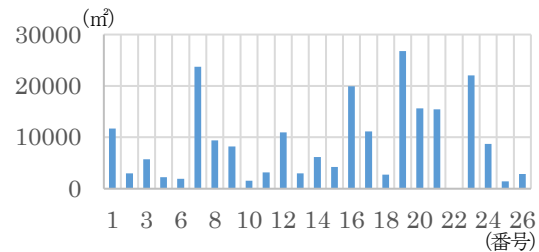


図3. 国内事例(全26施設)延床面積 No.4除外

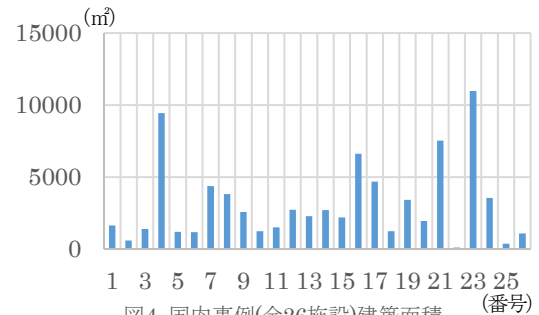


図4. 国内事例(全26施設)建築面積

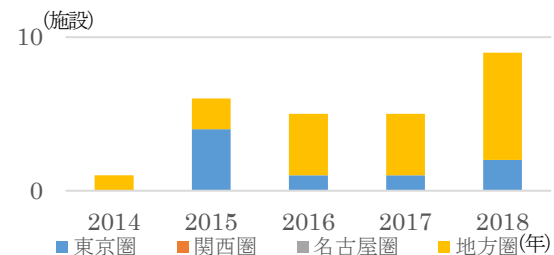


図5. 国内事例(全26施設)所在地 (三大都市圏と地方圏)

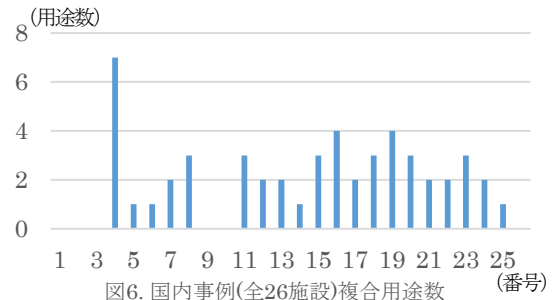


図6. 国内事例(全26施設)複合用途数

2章 近年の他用途と合築された図書館の分類

2-1 類型方法

2章ではデータシート化した全28施設を1章で明らかとなった特徴・傾向をふまえながら、より詳しく各施設の他用途と図書館による空間構成のパターンを明らかにした。図書館の機能をもつ領域を「図書館」、その他の用途をもつ領域を「他用途」として平面図上で色分けし、タイプ分けした。

2-2 類型表

以下のように、11種類のタイプ(図7.)に分類した。分類タイプ名と類型ダイアグラムを作成し、各タイプ1施設ずつ図示しながら説明を行なった。

Type A:A1: 他用途の中に1階以外に図書館を含む計画

A2: 他用途の中に1階に図書館を含む計画

Type B:B1: 図書館の中に1階以外に他用途を含む計画

B2: 図書館の中に1階に他用途を含む計画

B3: 図書館の中に最上階に他用途を含む計画

Type C:C1: 1階以外の階で図書館を含む計画

C2: 1階含む下階に図書館、上階に他用途を含む計画

C3: 1階含む下階に他用途、上階に図書館を含む計画

Type D: 図書館と他用途が隣接する計画

Type E: 図書館と他用途が不規則に配置された計画

Type F: 図書館のみの計画

2-3 結果

TypeA・Bは図書館と他用途との相乗効果を期待した計画が多い。1階に図書館と他用途両方が配置されているTypeA2, B2が特に地域に開く計画がなされていた。TypeC・Dは図書館と他用途の融合が空間的になく、機能的合理性はあるが相乗効果を得られにくいことが分かった。TypeEは最低限の動線操作と利用者へのゆだねた自由な動線により、地域住民が利用しやすい計画が分類された。TypeFは建物が図書館のみであるため、建物外周部に庭や他用途による工夫が必要だと分かった。このように図書館領域と他用途領域がどのような空間構成で影響し合っているのかを把握した。

表1. 対象施設一覧

番号	開館年月	名称	所在地
1	2018/12/1	西条中央図書館	徳島県徳島市西条区西条1-2-92
2	2018/12/1	東京芸術大学図書館リソースセンター (RSC)	東京都台東区上野公園17-8
3	2018/12/1	東京大学総合図書館3階	東京都文京区本郷7-3-1
4	2018/12/1	さっぽろスチーフ	北海道札幌市中央区南5条西3-6
5	2018/10/1	大塚駅文化センター	東京都豊島区大塚5-15-15
6	2018/9/1	ゆずはら書庫の上の図書館「YUSUHARAゆずはら」	東京都葛飾区柳原1-12-2
7	2018/9/1	フォーチア (東京都図書館総合会施設)	東京都豊島区西巣籠3-1-1
8	2018/9/1	東京都立川市図書館 (東京都立川市駅前PA・交流施設)	東京都立川市中央2-28-2
9	2018/9/1	伊勢女子大学図書館	東京都伊勢市山崎4-4-10
10	2017/6/1	竹田中央図書館	大阪府竹田市竹田2-279
11	2017/5/1	大田中央図書館・図書館	静岡県大田区東町16-30
12	2017/5/1	ゆいぽんのあつちか	東京都中央区新富1-2-50-1
13	2017/5/1	宮内町まち文化交流館 (ふみのあまてす)	東京都宮内町東町4丁目17-1
14	2017/5/1	所立中央図書館・よねさか市民センター	山形県所立町1-1-1
15	2016/12/1	鎌倉総合センター	神奈川県鎌倉市東山1-1-1
16	2016/4/1	分館事務所・こもろプラザ	東京都目黒区目黒3-3-3
17	2016/4/1	北本市市民ふれあい交流館	埼玉県北本市本町1-1-11
18	2016/4/1	権現図書館	兵庫県神戸市東灘区権現寺町2-179
19	2016/3/1	TOYAMAキラリ	富山県富山市西1-1-1 富山県立1-1-1
20	2015/12/1	江東区立ソニーセンター	東京都江東区豊洲2-2-18
21	2015/9/1	みんなの森まなびプラザユキスガ	埼玉県春日部市北1-10-5
22	2015/9/1	川の上 豊後館	福岡県北九州市八幡西区43-2
23	2015/9/1	岡山県立中央図書館 (旧・中央図書館)	岡山県岡山市北区1-1-1
24	2015/9/1	宮城県立第一中学校 総合図書館・学習支援室・学習室	宮城県仙台市青葉区1-1-1
25	2015/9/1	なごみプラザ	東京都中央区新富1-1-1
26	2014/7/1	茨城図書館	茨城県水戸市東町1-1-1
27	2014/7/1	ウィーン国際児童学校	Wien International School Vienna Austria
28	2014/7/1	江戸川図書館	千葉県東葛飾区江戸川1-1-1

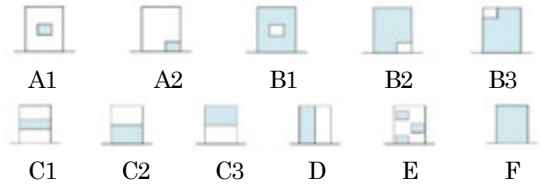


図7. 類型ダイアグラム

3章 事例調査 (5施設)

3-1 方法

3章では関東圏で訪問可能な5施設で現地調査を行った。スケール別図化(図8.)を通した周辺環境の把握と、施設の空間・運営についてのヒアリングから施設の現状をより詳しく分析し、建築について9項目、運営について7項目で評価した。(表2.)



図8.例)太田市美術館図書館スケール別図化

表2. 建築・運営について 評価一覧表

評価項目	評価項目	1.費用	2.費用	3.支出	4.効果	5.効果
建築	1 階中から空間(階間)と豊かな空間(図書館)の距離が保たれているか。(有:○、どちらか一方のみ:△)	○	○	○	○	○
	2 階間の余裕を留められ(公共用と図書館)の距離が保たれる空間(有:○、無:△、無:△)	△	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間で利用可能な空間(有:○、無:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
運営	1 階間の余裕を留められ(公共用と図書館)の距離が保たれる空間(有:○、無:△、無:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
	階間の階間による過剰な高さ(階間の階間)のある空間(有:○、不足または過剰な高さ:△、階間の階間のある空間:△)	○	○	○	○	○
合計	評価項目:○・△・評価項目:△	32%	41%	42%	35%	39%
割合		71%	91%	93%	78%	87%

3-2 結果

調査した全5施設はTypeA2・C1・C3のそれぞれ1施設と、TypeEの2施設である。建築・運営についての合計評価点数は各施設7割を超え、なかでも3. 太田市美術館図書館の合計評価点数が最も高い。またTypeEの2施設のみを90点以上と評価した。

4章 終章

分類した28施設中10施設(TypeA2, B2, E)が地域に開く計画であると分かった。特に2施設(TypeE)は、図書館と他用途の柔軟な配置と、利用者へのゆだねた自由な動線計画をもち、地域住民が利用しやすい空間と運営を可能にしており、地域に開かれた生活と地続き感のある場所をもつ計画と評価できる。

参考文献1. 新建築社, 新建築(2014-2018), 2. 各施設公式HP, 3. 西川薫著, 図書館建築発展史, 丸善プラネット株式会社(2010)